

大阪医科大学附属病院

総合診療科



大阪医科大学附属病院
総合診療科
大阪府高槻市大学町 2-7



高槻市マスコットキャラクター はにたん

皆さん、こんにちは！総合診療科長の鈴木です。



症例をもとに若き研修医たちが病名をさぐるNHK総合テレビ「ドクターG」に出演。

また、全国の病院では、1つ1つの症例をじっくり深めていく、出張カンファレンス（症例検討会）が好評を博している。

「Dr. 鈴木の13カ条の原則で不明熱に絶対強くなる」（羊土社）を2015年4月に発行。



鈴木 富雄（すずき とみお）

大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座 特任教授
大阪医科大学医学部附属病院総合診療科 科長

【略歴】

名古屋大学医学部卒業。

名古屋大学医学部附属病院総合診療科を経て、2014年9月より、大阪医科大学地域総合医療科学寄附講座特任教授、大阪医科大学附属病院総合診療科科長。

みなさんこんにちは。大阪医科大学附属病院総合診療科科長で本プログラム責任者の鈴木富雄です。

私は2014年9月にそれまで勤務した名古屋大学医学部附属病院を退職し、大阪医科大学附属病院に赴任いたしました。その時点で既に存在していた大阪医科大学総合内科における後期研修プログラムを、さらに進化させ新たに拡大させたものが、本プログラム「大阪医科大学附属病院 総合診療専門研修プログラム」です。

新しいフレッシュなプログラムにも関わらず、大変喜ばしいことに研修を希望される方が多く、現在卒後7年目のレジデントが2人、卒後6年目のレジデントが5人、卒後5年目のレジデントが3人、卒後4年目のレジデントが2人、卒後3年目のレジデントが2人、計14人が本プログラムに在籍しています。

家庭医として開業を考えている者、病院総合医としての研鑽を積みたい者、卒前教育や卒後教育に関心の高い者、感染症診療分野で活躍したい者、彼らが希望する将来像は実に様々ですが、皆に共通しているのは、常にどんな時でも目の前の患者に対して真摯に対応できる臨床家でありたいという強い思いです。

彼らの学びに対する意識は貪欲であり、日々の診療を通じての成長は目覚ましいものがありますが、雰囲気は極めて和やかで、和気あいあいと毎日の研修に励んでいます。

皆さんも私たちと一緒に、自分自身の未来への輝かしいキャリアと日本における総合診療の新たな歴史を創っていきませんか？よろしければまずは是非一度、気軽に見学にお越しください。

教授室でたくさんのお菓子と素敵な秘書がお待ちしております。



三澤 美和 (みさわ みわ)

大阪医科大学附属病院総合診療科の三澤です。私は滋賀県にある長浜赤十字病院で11年間、糖尿病診療や救急医療に携わり家庭医療専門医および糖尿病の専門医として診療をしてきました。今までよりさらに全人的に、網羅的に患者様の様々な健康問題に対応できる病院総合医としての経験を積みたいと思い、2016年4月に当科に赴任して2年が経ったところです。当科の患者様は実に多岐に渡る訴え、病態、状況を抱えており、これまでの経験が何だったのかと思うくらいに日々新しいこととの出会いの連続です。2年たった今も、新人のように毎日驚きと発見についていくのに必死です。患者さんの背景や気持ちをよく聞き、その方にとって何が問題なのかを患者さんとともに見つけていく診療は学びにあふれています。

本プログラムに在籍するレジデントたちは個性豊かで、お互いに助け合いながら楽しく研修を積んでいます。時に困難な症例にぶつかるときにも、ともに悩み、解決の方法を探し私も含めお互いが成長していると思います。

私自身、二人の子供を育てながら仕事を続けさせてもらっており、当科はそれぞれの働き方を一緒に考えていける場所でもあります。専門医制度が混んとする中、不安もあるかもしれませんが、臓器別には決められず患者さん全体を診たいと思う人、患者さんの家族や背景も大切にしたい診療を目指したい人、レジデント部屋で一緒にわいわい勉強したい人…！きれいだころの秘書さん達と共にみなさんが来てくださるのをお待ちしております。

大阪医科大学
地域総合医療科学寄附講座
特任助教
大阪医科大学医学部附属病院
総合診療科 医長

大阪医科大学付属病院 総合診療科

島田 史生 (しまだ ふみお)

大阪医科大学附属病院総合診療科の島田です。私は大学を卒業して市中の病院で研修を行い、その後一般内科医を経て臓器別専門医として働いてきました。しかし、医師を目指した当初の思いである“どんな病気でも診ることのできる医師になりたい”という気持ちを捨てきれず、総合診療医の道を歩むべく千葉大学医学部附属病院総合診療科にて診断推論を中心に研鑽を積み、今年の4月に本学へ赴任したところです。赴任してまだひと月余りしか経っていませんが、個性豊かな当科レジデントの先生達、ドクターGこと鈴木教授を筆頭に熱意溢れる指導医の方々、それに卓越したサポート力を発揮する秘書さん達という、充実した環境で仕事をしています。

当科で診療する患者さん達はbio-psycho-socialの各領域で複雑な問題を抱えた方が多く、まさに総合診療の力が必要な人たちがばかりであり、そのような環境の中でレジデントの先生達と共に時に悩みや疑問にぶつかりながらも日々診療に当たっています。私達の研修プログラムは診療所から地域の中核医療機関、更には大学病院という高次機能病院まで多様な医療現場で研修を送ることが可能であり、レジデント一人ひとりのニーズや状況にも応じて多様な研修環境・キャリアプランそして指導体制を提供しています。また私達の診療科はwork-life balanceを大事にしており、その結果？(私も含めて)子育て中の先生もたくさん在籍して活躍しています。総合診療や家庭医療に興味のある先生方、ぜひ私達と一緒に学んで行きませんか？皆さんのお越しを心からお待ちしております！



大阪医科大学
地域総合医療科学寄附講座
特任助教
大阪医科大学医学部附属病院
総合診療科 医長

大阪医科大学附属病院 総合診療科
研修プログラム

3つの特徴

病歴と身体診察を基本とし、
患者の思いに応えられる
本物の総合診療能力を獲得

院内から全国に広がる
濃密なネットワークを駆使し、
多彩なキャリアパスを支援

プロフェッショナルとしての
生涯に渡る成長と学び
の方略を確立

研修プログラムについて

病歴と身体診察を基本とし、患者の思いに応えられる本物の総合診療能力を獲得

- ・カンファレンスやレクチャーにて臨床推論の王道を研鑽
- ・ジェネラリストのロールモデルの診療科長による直接指導
- ・ベツトサイド教育を通じて的確な診察手技をマスター
- ・丁寧なフィードバックにて学びを得る外来・病棟研修
- ・最後の砦の大学病院総合診療科医としての粘り強い診療姿勢



院内から全国に広がる濃密なネットワークを駆使し、多彩なキャリアパスを支援



- ・診療所から第一線病院までの指導体制の充実した協力施設群
- ・大阪医大での専門各科の柔軟で熱意溢れる全面的サポート体制
- ・小児から高齢者、救急から在宅・緩和ケアまでの幅広い研修機会
- ・卒前卒後の医学教育への参加機会や留学および教員への道もあり
- ・ワーク・ライフバランスを第一に女性のキャリアも最大支援

プロフェッショナルとしての生涯に渡る成長と学びの方略を確立

- ・定期的な振り返りにより到達地点を確認し次の目標を設定
- ・ストレスfulな問題に対するSEA (significant event analysis)
- ・ジレンマや悩みも気軽に相談できる指導医と医局の雰囲気
- ・成長の証のポートフォリオ記述に関する明快で詳細な指導
- ・生涯にわたり成長する省察的実践者としての個人をサポート



常に目の前の患者に真摯に対応し最善の選択ができる

「あなたの専門家」 になるために

研修プログラムの一例

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科			必須内科 大阪医大●●内科		
2年目	総合診療専門II 大阪医大総合診療科						必須救急科 洛和会丸太町病院			必須小児科 洛和会音羽病院		
3年目	総合診療専門I 公立神崎総合病院						総合診療専門I 本山町立国保嶺北中央病院					

総合診療 I 密接に関連した診療所もしくは小病院で Commonな症例を豊富に経験	千春会病院、山口医院、 かとう内科並木通り診療所、公立神崎総合病院、 本山町立国保嶺北中央病院、川村会くぼかわ病院、 奈良市立都祁診療所、米原市地域包括医療福祉センター
総合診療 II 研修の中心となる大学病院総合診療科で ジェネラリストとしての根幹を確立 (必須内科研修を兼ねる)	大阪医科大学総合診療科、市立奈良病院
必須内科 大学病院専門内科での充実した指導体制下で 豊富な症例を研鑽	大阪医科大学専門内科各科、有澤総合病院、洛和会丸太町病院、 公立神崎総合病院、市立ひらかた病院、高槻赤十字病院
必須救急科 一次から三次まであらゆる症例に対応できる 救急診療能力を育成	大阪医科大学救急科、洛和会丸太町病院、 市立ひらかた病院、市立奈良病院、高槻赤十字病院
必須小児科 外来から入院症例まで多彩な症例を経験	大阪医科大学小児科、洛和会音羽病院、市立ひらかた病院、 市立奈良病院、公立神崎総合病院、高槻赤十字病院
領域別研修 レジデントの希望に応じて柔軟な選択が可能	大阪医科大学専門各科

研修場所に関わらず、3年間を通して定期的な振り返りセッションを継続
 より良い学びの場を求めて、現在さらに研修協力施設を全国的に拡大中



水無瀬病院にて研修中

専攻医 藤本隆一郎 出身大学/大阪医科大学

去年は、4月から半年間ひらかた市民病院で救急科・小児科を、10月からの半年を千春会病院で総合診療Ⅰの研修をさせていただきました。
今まで大学病院以外で勤務したことがなかったため、よりcommonな症例を経験することができました。
今年は、専門医試験を控えており試験勉強が大変ですが、鈴木先生が試験対策のための勉強会を週1回開催してくださるので安心して試験に臨むことができそうです。
絶対に合格できるように頑張りたいと思います。

大阪医科大学附属病院にて研修中

専攻医 中垣孝規 出身大学/大阪医科大学



本年5月までは高知の地域中核病院で総合診療科Ⅰの研修を行っていました。
高知は鯉のタタキはさることながら、土佐あか牛や野菜などの食材の充実、本当に豊かな自然の中で生活することができ、身も心も洗われました。
6月から大学病院の総合診療科で勤務し、地域医療の経験を活かしつつ、大学病院ならではの稀な疾患の診療にも積極的に取り組んでいきたいです。



山口医院にて研修中

専攻医 黒岡佑介 出身大学/大阪医科大学

私は現在、地域の診療所で1年以上診療しております。超高齢者から乳児まで、老若男女様々な患者さんが「健康」に過ごして頂けるように、日々精進しております。
外来診療、在宅診療、予防接種、地域包括支援会議、学校保健会議まで、様々な場面に参加させていただき、地域で医者をするということの意味が少しわかってきました。
しかし、やればやるほど自分の未熟さを感じます。学問の面でも、経験面でも、人間の器の面でも、常に至誠を尽くせるように努めるのが総合医だと思います。
是非、一緒に一生懸命学んでいきましょう。

大阪医科大学附属病院にて研修中

専攻医 関根一臣 出身大学/大阪医科大学

救急科領域を高槻赤十字病院で、小児科領域を大阪医科大学附属病院で研修している医師5年目(後期研修3年目)です。救急科領域では、約2000名の患者さんを診察し、後期研修医として経験すべき病棟の急変対応と救急車の受け入れ・対応・マネジメントを学びました。
小児科領域では、内分泌・心身症班と膠原病班に属し、気管支炎、喘息、1型糖尿病、アレルギーなどのcommon diseaseや Anorexia nervosa、JIA、自己炎症性疾患の様な専門知識が必要な疾患と成長・発達を含めた家族との繋がりについて学んでいます。
これからの研修で患者本人はもとより、家族や地域の特性など患者を取り巻く環境を今までと違う視点から捉え、赤ちゃんからご高齢の方まで幅広くみれる力を養いたいと思います。



市立ひらかた病院にて研修中

専攻医 杉多嗣之 出身大学/大阪医科大学

2018年4月より市立ひらかた病院の救急科で勤務させていただいております。プログラムとしては救急科研修の期間ですが、週に一度総合内科外来を担当させていただいたり、業務の間に緩和医療に関わらせていただいたり柔軟性が高く、日々充実しております。7月からは同院小児科で勤務予定です。
大学病院ではあまり経験できなかった一般的な疾患から難解な症例まで幅広く診療し、しっかりフィードバックすることで今後に活かしたいと考えています。
地域のニーズに応じた適正な医療を提供できる体制に貢献できるよう、これからも邁進します。

Resident Voice



やりがいを感じることは？

患者さんの
多種多様な困難に直面し
共に解決できたとき

総合診療科の雰囲気は？

物凄くアカデミック
かつ医学の原点

専攻医 稲垣諒将
出身大学/大阪医科大学

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

是非、我々と今後の総合診療を担っていきましょう！



やりがいを感じることは？

患者さんの悩みを
解決できたとき

総合診療科の雰囲気は？

大病院の医局なのに
すごくアットホーム！！

僕たちレジデントもそうですし、
学生研修医の方にもどんどん教え
てくれてすごく勉強になる。

専攻医 重留一貴
出身大学/大阪医科大学

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

見学はもちろん大歓迎！
来るだけでも勉強になるので是非一度遊びに来て下さい！



大阪医科大学附属病院総合診療科は、 女性のキャリア形成を全面的にサポートします！



やりがいを感じることは？

丁寧な病歴聴取・身体診察を心掛け、幅広い可能性から原因を見つけ出し、患者さんが安心して笑顔になってくれた時。

総合診療科の雰囲気は？

優しく気さくな先生ばかりでとても楽しいです！

専攻医 佐々木真弥
出身大学/兵庫医科大学

いつでも症例相談に乗ってもらえるので心強く、手厚いレビューと振り返りで日々成長できます。



やりがいを感じることは？

優しい先輩方に囲まれて日々勉強中です。

総合診療科の雰囲気は？

とても相談しやすい環境でいつも助けていただいています。

専攻医 吉田玲子
出身大学/福岡大学

医学生、研修医へ のメッセージをお願いします。

患者さんは“主訴”だけでなく他にも“困っていること”があるはず。「病気」を診るだけでなく、その「人」の全体を診れる医師と一緒に目指しましょう！

医学生、研修医へのメッセージをお願いします。

アットホームな雰囲気で楽しい医局です。一度遊びに来て下さい！



女性医師の一日を ご紹介！



8:15 子供を保育室へ

明るく活気あふれる大学の保育室
近くなので安心して預けられ
仕事に集中出来ます！



8:30 医局到着！

朝一番の申し送り。
当直担当から入院患者さんの引継ぎや、
今後の対応方法を上司や先輩方と話し合い
1日の計画をしっかりと立てます！

9:00 外来業務へ

様々な思いを抱えた患者さんと
誠心誠意向き合っています。



14:30 昼食

昼食は先輩と一緒にいただきます！

15:30 カンファレンスと回診

疑問点が解消されるカンファレンス
患者さん一人一人
じっくり時間をかける回診



17:00 専攻医のための勉強会

鈴木先生からの濃いレクチャーが
受けることができる貴重な時間！



18:00 保育室へお迎えに・・・



おつかれさまでした！

専攻医の一週間

時刻	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00		医局会/抄読会					
9:00	病棟診療 オンコール当番	外来診療	外部勤務	病棟診療	外部勤務	隔週(第1,3,5週) 外来 or 病棟診療	
10:00							
11:00							
12:00							
13:00							
14:00			勉強会 準備				
15:00							OFF
16:00	入院カンファレンス	カンファレンス 科長回診		救急・外来 カンファレンス 研修医症例発表	カンファレンス 科長回診		
17:00							
18:00	勉強会			第4木曜 漢方レクチャー	勉強会		
19:00			救急当直				
20:00					京都GIMへ参加 (第1金曜)		
21:00							
22:00							

カンファレンス風景



カンファレンス・勉強会

<p>Dr. 鈴木の 熱血レクチャー シリーズ</p>	<p>金 17時～18時半</p>	<p>専攻医の熱いリクエストを受け、 毎週金曜の夕方、ついに始まりました 『Dr. 鈴木熱血レクチャーシリーズ』 熱気に溢れた猛烈に密度の濃い1時間半ですが、 他ではちょっと聞けない実践的で超役に立つ クリニカルパールの数々が満載です。</p>	
<p>ベットサイド ティーチング</p>	<p>火・金 15時半～17時</p>	<p>診療科長の鈴木が研修医や専攻医と共に、 入院中の患者に対して一人一人時間をかけて 回診します。ベットサイドティーチングの神髄が ここにあります。</p>	
<p>入院 カンファレンス</p>	<p>月 15時半～17時</p>	<p>研修医や専攻医が受け持ちの入院症例を プレゼンテーションした後、参加者全員で ディスカッションをして議論を深めます。 診断困難例や治療方針が立ちにくい症例を 共有して方向付けをする重要なカンファレンスです。</p>	
<p>救急・外来 カンファレンス</p>	<p>木 15時半～17時</p>	<p>救急当直や外来での興味深い症例の共有や、 治療方針の決定の相談など、何でも気軽に 議論のできる場です。 たくさんのクリニカルパールが示される 大変有意義なカンファレンスです。</p>	
<p>抄読会</p>	<p>火（隔週） 8時～8時半</p>	<p>専攻医が持ち回りで、それぞれの興味に応じて、 総合診療・家庭医療に関する英文論文を読み込み、 簡単な資料を作成して皆で論文からの学びを 共有します。</p>	
<p>ポートフォリオを 用いた振り返り</p>	<p>月 18時～19時</p>	<p>専攻医が持ち回りで、家庭医療専門医取得に必要な 書式でポートフォリオを作成し、指導医の下で 文献などを調べ、理論的背景を深めながら、 皆で学びの振り返りを行っています。 この時間は、キャリアを確実に積み上げていく上で 欠かすことのできない「メタ認知」を行う 絶好の機会となっています。</p>	
<p>漢方レクチャー</p>	<p>木 （月に一度）</p>	<p>日本プライマリ・ケア学会指導医で 日本東洋医学会漢方専門医でもある漢方の達人、 下村先生による非常にわかりやすい漢方レクチャー。 証を見極め適切な手を打つ。必見の講義です。</p>	

レジデント募集要項

まずはお気軽に
お問い合わせください。

応募資格	1. 医師免許を有している者 2. 2019年4月までに臨床研修を修了している者、または修了見込みの者 3. 臨床研修修了後6年を経過していない者
研修開始日	2019年4月1日 但し、応募者の都合により研修開始日の変更は可能
試験日	第1回目 2018年 9月15日(土) 第2回目 2018年11月17日(土) 第3回目 2019年 2月 2日(土)
選考方法	面接試験
出願期間	第1回目 2018年 8月 6日(月)~2018年 9月 7日(金)必着 第2回目 2018年 9月18日(火)~2018年11月 9日(金)必着 第3回目 2018年12月10日(月)~2019年 1月18日(金)必着
問い合わせ先	大阪医科大学附属病院 総合診療科 gmd002@osaka-med.ac.jp

※総合診療専門医研修を行うためには、上記の申込と共に日本専門医機構が定める専攻医登録システムへの登録が必要です。詳細は、日本専門医機構のホームページをご覧ください。

たかつき 高槻ってどんなところ？

自然が
たくさん！



関西版
住んでみて
良かった街
No.1!

とにかく移動が便利！

JR	大阪	15分	高槻	12分	京都
阪急	梅田	21分	高槻市	22分	河原町

大阪医科大学附属病院
総合診療科
大阪府高槻市大学町2-7

